



雪のように軽やかに舞うオシドリの子どもたち



力強い鬼たちの歌



愛を確かめ合うオシドリの夫婦、ミクニとたえ

新おしどりの物語

日野町民ミュージカル



日野の里の獵師・村允（そんぞう）

12月18日、町民ミュージカル「新おしどりの物語」が町文化センターで上演されました。

この作品は、平成16年10月に上演し大好評を得た「おしどりの物語」に、新しい登場人物や場面・歌を加えて再構成したもので、オシドリの親子に起こる悲劇を中心に、オシドリと人間、鬼との交流を描いたファンタジー作品です。

出演者は、町内の子ども17人と大人11人（うち日南町1人、米子市1人）。この日のために半年間練習を重ねてきました。満席状態の客席からは、その熱演と笑顔に心からの拍手が贈られ、公演は大成功をおさめました。

【あらすじ】

時は弥生時代。日野の里でひっそりと暮らしていたオシドリの親子の父ミクニは、獵師の村允^{そんぞう}が放った矢に射抜かれて命を落とす。最愛の夫を失ったミクニの妻たえは、人間に姿を変え、村允の妻となって復讐の機会をうかがう。

一方、鬼の住む里は、孝霊天皇が鬼退治に来るといふ噂で大さわぎ。村允に想いをよせる鬼の娘キララは、自分の醜い姿を恥じ、人間に生まれたかったと嘆く。

たえは復讐のためにやって来たものの、村允の優しさに触れ、ミクニへの想いとのはざまに苦しんで、ついに村允に自分の正体を告げるが…。



奇抜なヘアメイク、手づくりの衣装も話題のひとつ



大人のコミカルな演技に客席も沸く



元気いっぱい、陽気な村の子どもたち



ミクニを失ったたえの心の叫び



はじける笑顔のフィナーレ、町民歌「きらり この町」



ミクニへの想いを断ち切れず、たえは村允の前で自ら命を絶つ



主役の二人に大きな拍手が贈られる



感謝の気持ちいっぱい。幕が下りるまで客席に手を振る